

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	和歌山大学
設置者名	国立大学法人和歌山大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
教育学部	学校教育教員養成課程	夜・通信	28	11	6	45	13	
経済学部	経済学科	夜・通信		2	32	62	13	
システム工学部	システム工学科	夜・通信		0	92	120	13	
観光学部	観光学科	夜・通信		7	86	121	13	
(備考) 教育学部の学部等共通科目及び専門科目は、必修科目のみ記載。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス検索ページに掲載 https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/post_145.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	和歌山大学
設置者名	国立大学法人和歌山大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学のホームページ等において公表 https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public/public_org/executive.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	和歌山県信用保証協会 理事長	2019. 7. 1 ~ 2021. 3. 31	総務、財務担当
非常勤	株式会社 山本進重郎商 店代表取締役社長	2019. 4. 1 ~ 2021. 3. 31	社会連携担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	和歌山大学
設置者名	国立大学法人和歌山大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>和歌山大学成績評価方針において、授業の目的、到達目標、授業計画及び成績評価の方法・基準のシラバスへの明記など、教員による授業評価の基本方針を定めている。次年度の授業時間が決定した1月から2月に授業担当教員がシラバスを作成、2月から3月に部局が内容を確認の上、3月下旬または4月にHPで公表している。</p> <p>学生には、履修手引等により3月下旬または4月のガイダンス等にて指導している。</p> <p>各学部の授業科目のシラバス検索 https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/post_145.html</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/post_145.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>和歌山大学成績評価方針に基づき、授業時間外で行う事前・事後学習についてもシラバスに具体的に記載することとしており、個々の授業科目における成績評価は、シラバスに記載した到達目標の達成度に応じて、精密な評価を行うと定めて実施している。</p> <p>また、実施した各授業科目の成績評価結果について検証し、次回の授業改善に役立てることとしている。</p> <p>なお、成績評価に対する照会・異議申し立て制度を設け、学修成果に対する疑義に対応するとともに、成績評価に用いた答案等の保管等についても定めて実施している。</p> <p>和歌山大学成績評価方針 http://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/authorization5.html</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA制度に関する要項を定め、大学HPで公表するとともに、戦略情報室が作成した授業科目別成績分布状況を授業担当教員にフィードバックし、授業改善に努めている。</p> <p>【GPAの考え方】</p> <p>●GP = (素点-55) / 10 (GP値が0.5未満の場合(素点評価59点以下)はGP値を0.0とします)</p> <p>●学期GPA = 当該学期に履修登録した各科目の(GP×単位数)の合計 / 当該学期の成績評価を受けた全科目の単位数合計</p> <p>●通算GPA = 入学時から履修登録した各科目の(GP×単位数)の合計 / 入学時から成績評価を受けた全科目の単位数合計 (不合格科目を再履修して成績評価を受けた場合、再履修前の不合格評価は通算GPAに算入しません)</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	GPA制度・CAP制 https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/gpacap.html
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全学及び部局ごとのディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを定めてHPで公表するとともに、これらに基づいて授業科目を適切に開設している。</p> <p>また、卒業の認定にあたっては、学則及び学部規則に基づき、教授会において必要な学修を修めたことを認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	和歌山大学ディプロマ・ポリシー https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	和歌山大学
設置者名	国立大学法人和歌山大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00171403/H29zaimusyo.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00171403/H29zaimusyo.pdf
財産目録	-
事業報告書	https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00161275/H29jigyoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00157445/h29kanji-houkoku.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:平成31年度国立大学法人和歌山大学年度計画 対象年度:平成31年度)
公表方法: https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00178150/19project.pdf
中長期計画(名称:国立大学法人和歌山大学中期計画 対象年度:平成28年度~令和3年度)
公表方法: https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00178167/keikaku3-2.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00163446/jikohyouka2018.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00020701/ninsho2013_1.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/)
(概要) 和歌山大学教育学部は、人間と教育に関する深い理解と、科学・芸術・文化に関する専門的知識に基づき、教育実践力を高めることで、次代を担う子どもたちの成長と発達を支援していくことのできる高度な資質・能力をもった教員の養成を目的とする。この目的の実現をはかるために、初等教育コース・中等教育コース・特別支援教育コースの 3 つのコースを設置しており、明確なキャリアパスにより自らのめざすべき進路に応じた専門教育を受けることができる。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/edu/graduateschool-postgraduatecourse/diplomapolicy.html)
(概要) 和歌山大学ディプロマ・ポリシーに基づき、教育学部では、以下の能力を修得した学生に卒業を認定し、学士(教育学)を授与する。 1. 子ども・青年たちの成長・発達を支援する専門職として、生涯にわたって学び続ける基盤を備えている。 2. 学校教育において反省的・創造的な教育活動を行うための基盤となる学術的教養と教育実践に関わる専門的知識を身につけている。 3. 教育にかかわる専門職として、基本的人権を擁護する立場から教育実践ができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/edu/graduateschool-postgraduatecourse/diplomapolicy.html)
(概要) 1. 教員免許状の取得を目的とし、子ども・青年たちの成長・発達を支援する専門職として求められる資質・能力を修得できる体系的なカリキュラムを設定する。 2. 理論と実践を往還させ、実践的指導力の基礎を身につけるために、教育実習をはじめとする複数の学校現場での実習や体験を提供すると同時に、それを振り返る機会を設定する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/admission-policy/edu.html)
(概要) 1. 大学入学後の専門的知識と教養を学ぶ基礎となる学力・実技技能を有し、主体的・協働的に学習に取り組むことができる人 2. 学校教育に興味を持ち、教職やそれに関わる職をめざす人 3. 子ども・青年の成長・発達に関心を持ち、それを支援する豊かな人間性と人権意識を有する人 4. 他者を理解し、他者と協働できるコミュニケーション能力を有する人 5. 教育についての諸問題に関心を持ち、それらを解決するために自ら探求し、取り組もうとする意識を有する人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/
--

学部等名 経済学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/)
(概要) 経済学部は、広い視野と専門領域に応じた基礎学力及び経済社会を体系的に理解できる能力をもち、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止め、的確に判断し創造的・実践的に対応できる人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/eco/faculty/faculty_curriculum/index.html)
(概要) 経済学部の教育目標を達成するうえで、幅広い教養と高い倫理性、経済学における基本的な学力、社会科学の専門的な学力、問題解決を図るために必要な主体性、現実的問題の発見・解決を図るための、対話能力、創造力、実践力を身につけた者に対し卒業を認定し、学士(経済学)を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/eco/faculty/faculty_curriculum/index.html)
(概要) 幅広い教養と高い倫理性を身につけるための教養科目を配置する。これに加え、経済学ならびに社会科学の基本的学力および専門的学力を身につけ、複数領域の知識を横断的に活用できるようになるための専門科目を配置する。また、課題解決のための主体性、対話能力、創造力、実践力を身につけるために、少人数の授業科目や、社会の様々な関係主体からの協力を得た授業科目を配置する。学修成果は、適切な方法を用いて到達目標への達成度で評価する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/admission-policy/eco.html)
(概要) 高等学校等の標準的なカリキュラムや課外活動、諸外国における教育制度の下での学修、高等教育機関における学修や諸活動、並びに就業などを伴う社会的な活動などの様々な学びの機会を通して、次のような知識・技能・能力を身につけようとしてきた人を求める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の複合的な課題を発見・理解するための幅広い基礎的知識 ・ 認識した課題を分析・解決するための思考力 ・ 課題解決の実践にあたり、多様な人々と対話するためのコミュニケーション能力

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/
経済学部 経済学科
グローバル・ビジネス&エコノミー
企業分析・評価
ビジネスデザイン
企業会計・税法
地域公共政策・公益事業
サステイナブル・エコノミー
https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00159890/5gakubusoshiki2018.pdf

学部等名 システム工学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/)
(概要) 和歌山大学システム工学部は、広範な教養及び理工学における複数領域の分野を横断する知識を身につけ、その知識を自ら活用することにより、広い視野から時代の要請に応え、産業・社会のニーズに即応できる実践力と創造性を持ち、課題解決のできる研究者や技術者を養成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/curriculum/index.html)
(概要) システム工学部では、以下の能力を修得し、学部の定める審査を経た者に対して学士(工学)の学位を授与する。 1. 理工学における複数分野を横断し俯瞰する専門的な知識を身につけ、時代の要請に応えるためにその知識を活用する能力 2. 基礎学力および獲得した専門知識を活かした主体的な学修により自らの専門的思考力や技能を高めていく能力 3. 自らの思考過程、作業過程、成果およびそれらの妥当性を論理的に説明する能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/curriculum/index.html)
(概要) システム工学部は、ディプロマ・ポリシーにおいて定めた必要な能力を修得させ、その教育目的を達成するために、以下の科目により構成されるカリキュラムを編成する。 1. 教養科目 幅広い教養と高い倫理性を身につけるよう全学が提供する教養科目 2. 専門科目 技術者・研究者としての専門性を培い、複数分野にまたがる応用可能な専門知識、技能を身につける科目 3. 卒業研究 主体的な活動によりこれまでに身につけた専門知識と技能の応用力を高め、専門知識に裏付けられた論理的思考力を培うとともに、その思考過程や作業過程および得られた結論の妥当性を論理的に説明する能力を修得させるもの。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/admission-policy/sys.html)
(概要) システム工学部は、理工系学部教育を学ぶために必要な基礎的な学力を備え、以下に示す要件を満たす人を求める。 1. 理数系の基礎知識と問題解決能力を持ち、国際的なコミュニケーションに必要な英語力を有する人 2. 論理的思考力と多面的な分析能力により、複合化された複雑な課題を解決する能力を持つ人 3. 明確な目的意識を持ち、自らの将来を切り拓く意志を有する人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/

学部等名 観光学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/)
(概要) 観光学部は、「観光経営」・「地域再生」・「観光文化」という3つの基本領域(コース)の相互関係として観光学の学問体系の全体像を認識しつつ、このうちのいずれかの領域に主たる専門性(より深い教養)を発揮できる人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/faculty/faculty_curriculum/index.html)
(概要) 和歌山大学ディプロマ・ポリシーに基づき、観光学部では、以下のすべての要件を身につけている者に対して、学士(観光学)の学位を授与する。 1. 複雑かつ重層的な観光現象を考察できる、多角的な思考力を身につけている。 2. 地域づくりに資する観光に貢献できる、柔軟な協働力を身につけている。 3. 国際的に展開される観光を把握できる、広範な理解力を身につけている。 4. 理論的かつ実践的な観光を探究できる、高度な創造力を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/faculty/faculty_curriculum/index.html)
(概要) 観光学部では、ディプロマ・ポリシーにおいて定めた必要な能力を修得させるため、和歌山大学カリキュラム・ポリシーに基づき、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。 1. 多角的に思考する力を培うため、観光経営・地域再生・観光文化という3つのコースの講義科目を設置する。 2. 柔軟に協働する力を培うため、プロデュース科目・基礎自主演習・プロジェクト自主演習を設置する。 3. 広範に理解する力を培うため、外国語科目・国際科目と共に、専門教育科目を英語で100%履修できるグローバル・プログラムを設置する。 4. 高度に創造する力を培うため、基礎演習・プロジェクト演習・専門演習・卒業論文といった少人数教育科目を設置する。 また、これらを実現するための豊かな知性と人間性を育むための教養科目、および培われた力を卒業後に広く社会で発揮するためのキャリア科目を設置する。 学修成果の評価は、各科目の到達目標に応じ、定期試験やレポートなどを通じて達成度に基づき行う。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/admission-policy/tou.html)
(概要) 観光学部では、観光についての幅広い関心を持つ以下のような人を求める。 (1) 多角的な思考力を身につけることが期待される人 ・ 高等学校等で履修する科目について基本的な知識を有する。 ・ 論理的に深く思考する力を有する。 ・ 多面的にものごとをとらえる力を有する。 (2) 柔軟な協働力を身につけることが期待される人 ・ 他者の意見を尊重し受け入れる柔軟性を有する。 ・ 協調性を持ち円滑なコミュニケーションを図る力を有する。 ・ 規範性を持ち自己を律する力を有する。 (3) 広範な理解力を身につけることが期待される人 ・ 文章を読み解く力を有する。 ・ 多様な文化・歴史・地理・言語への強い関心を有する。 ・ 現代の社会情勢に対する強い関心を有する。 (4) 高度な創造力を身につけることが期待される人 ・ 自身の考えを文章としての的確に表現できる力を有する。 ・ 主体的かつ積極的にものごとに挑戦し持続する力を有する。 ・ 新しいものごとへの好奇心・探究心を有する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	学長 1 人 副学長 3 人	—					4 人
教育学部		35 人	28 人	1 人	1 人	人	65 人
経済学部		21 人	22 人	3 人	2 人	人	48 人
システム工学部		31 人	30 人	8 人	7 人	人	76 人
観光学部		14 人	9 人	2 人	1 人	人	26 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
1 人		167 人				168 人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://wakarid.center.wakayama-u.ac.jp/					
c. FD（ファカルティ・デベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>教務委員会の下に設けたFD部会において、全学的なFD活動を企画・実施しているほか、各学部のFD委員会においても、各部局の状況に合わせ、独自に活動を行っている。主な活動は以下のとおり。</p> <p>【全学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員相互による授業参観の実施 ・全学FD研修の実施（平成29年度：FD講演会「教育の内部質保証をどのように理解し、実践するか」など計9件） ・関西地区FD連絡協議会製作動画教材「シリーズ大学の授業を極める(1)講義法」を教員に提供（平成30年9月） <p>【部局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業評価を教員にフィードバック ・新任教員の授業公開・参観（〔教育学部〕平成29年度：1名） ・学部FD講演会の実施（〔経済学部〕平成29年度：ソーシャル・インクルージョン研究ユニットシンポジウム開催など計2件、〔観光学部〕TedQual研修会など計8件） ・グッド・レクチャー賞の選定（〔システム工学部〕前期・後期各1件） など 							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	165 人	175 人	106%	660 人	716 人	108%	0 人	0 人
経済学部	300 人	323 人	108%	1,220 人	1,375 人	113%	10 人	11 人
システム工学部	305 人	320 人	105%	1,260 人	1,375 人	109%	20 人	28 人
観光学部	120 人	126 人	105%	480 人	520 人	108%	0 人	0 人
合計	890 人	944 人	106%	3,620 人	3,986 人	110%	30 人	39 人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	168人 (100%)	8人 (4.8%)	150人 (89.3%)	10人 (5.9%)
経済学部	344人 (100%)	4人 (1.2%)	316人 (91.9%)	24人 (6.9%)
システム工学部	306人 (100%)	151人 (49.3%)	148人 (48.4%)	7人 (2.3%)
観光学部	120人 (100%)	2人 (1.7%)	110人 (91.7%)	8人 (6.6%)
合計	938人 (100%)	165人 (17.6%)	724人 (77.2%)	49人 (5.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 教育学部 https://www.wakayama-u.ac.jp/edu/logos/course.html 経済学部 https://www.wakayama-u.ac.jp/eco/learn/statistics/faculty/2018.html システム工学部 https://www.wakayama-u.ac.jp/sys/career/data.html 観光学部 https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/employed/record/2018_record.html				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	169人 (100%)	150人 (88.8%)	7人 (4.1%)	6人 (3.6%)	6人 (3.6%)
経済学部	342人 (100%)	301人 (88.0%)	21人 (6.1%)	7人 (2.0%)	13人 (3.8%)
システム工学部	308人 (100%)	250人 (81.2%)	35人 (11.4%)	13人 (4.2%)	10人 (3.2%)
観光学部	116人 (100%)	107人 (92.2%)	4人 (3.4%)	1人 (0.9%)	4人 (3.4%)
合計	935人 (100%)	808人 (86.4%)	67人 (7.2%)	27人 (2.9%)	33人 (3.5%)
(備考) 「その他」は、休学により所定の在学期間に達していない者					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】</p> <p>和歌山大学成績評価方針において、授業の目的、到達目標、授業計画及び成績評価の方法・基準のシラバスへの明記など、教員による授業評価の基本方針を定めており、授業担当教員が作成したシラバスは、部局が内容を確認の上、HPで公表している。</p> <p>学生には、履修手引等により3月下旬または4月のガイダンス等にて指導している。</p> <p>各学部の授業科目のシラバス一覧 https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/post_145.html</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 【様式第2号の3より再掲】 和歌山大学成績評価方針において、授業時間外で行う事前・事後学習についてもシラバスに具体的に記載することとしており、個々の授業科目における成績評価は、シラバスに記載した到達目標の達成度に応じて、精密な評価を行うと定めて実施している。 全学及び学部ごとのDP、CPを定めてHPで公表するとともに、これらに基づいて授業科目を適切に開設している。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部	学校教育教員養成課程	132 単位	有・無	56 単位
経済学部	経済学科	124 単位	有・無	48～56 単位
システム工学部	システム工学科	132 単位	有・無	52～60 単位
観光学部	観光学科	124 単位	有・無	36～48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/gpacap.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/activity/recognition.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： キャンパス案内 (バリアフリーマップ) https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00179706/barrimap2019.pdf 運動施設、課外活動施設、休息のとれる環境など https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00159791/undoushisetsukagaikatudoushisetsu2018.pdf 課外活動・クラブ一覧 https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/activity/extracurricular.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
教育学部	学校教育教員養成課程	535,800 円	282,000 円	円	
経済学部	経済学科	535,800 円	282,000 円	円	
システム工学部	システム工学科	535,800 円	282,000 円	円	
観光学部	観光学科	535,800 円	282,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ・新入生や在学生対象の学年ごとのガイダンスにおける履修指導 ・新入生合宿研修の実施 ・GPAを活用した成績不振者等への修学履修相談の実施 ・障がい学生支援部門を窓口、関係部局が連携して特別に支援が必要な学生に対する修学支援を実施 ・オフィスアワーの設定やネットワークを利用した学習相談システム、学生なんでも相談室など、複数の方法により学生が相談しやすい環境を整備 ・チューターや指導教員による留学生への指導・助言、アドバイス など

<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>キャリアセンターにおいて、学内企業説明会・業界研究セミナー・就職ガイダンス・特別講座など、各種キャリア支援行事の運営、就職相談、進路指導、エントリーシートの添削、模擬面接などのキャリアカウンセリング（個人指導）、キャリア教育・インターンシップに関するサポートを実施している。</p> <p>和歌山大学キャリアセンターホームページ https://www.wakayama-u.ac.jp/career/</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>保健センター、キャンパスライフサポートルームにおいて医師・臨床心理士による専門的な相談体制をとる一方、「学生なんでも相談室」を設けて教職員による相談業務も行っている。</p> <p>保健センターでは、各種健康相談に加え、メンタルサポートを実施。メンタルサポートでは、毎年「メンタルヘルス研修旅行」を実施しており、当該研修を通じてメンタルヘルス、ピア・サポートを学習している。また、卒業生・在学生らの自助グループ「アミーゴの会」での不登校学生とのふれあい活動は、授業を受けることが困難になった学生の修学復帰の一助となっている。</p> <p>キャンパスライフサポートルームでは、身体的・精神的な障害を持つ学生は無論のこと、多様な学生の大学生活上の悩みに対し、その配慮方法等について相談に乗るとともに、学部等に対し、学生からの配慮申請に基づき合理的配慮実現に取り組んでいる。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：https://www.wakayama-u.ac.jp/about/public_information_gallery/education-information/</p>
